

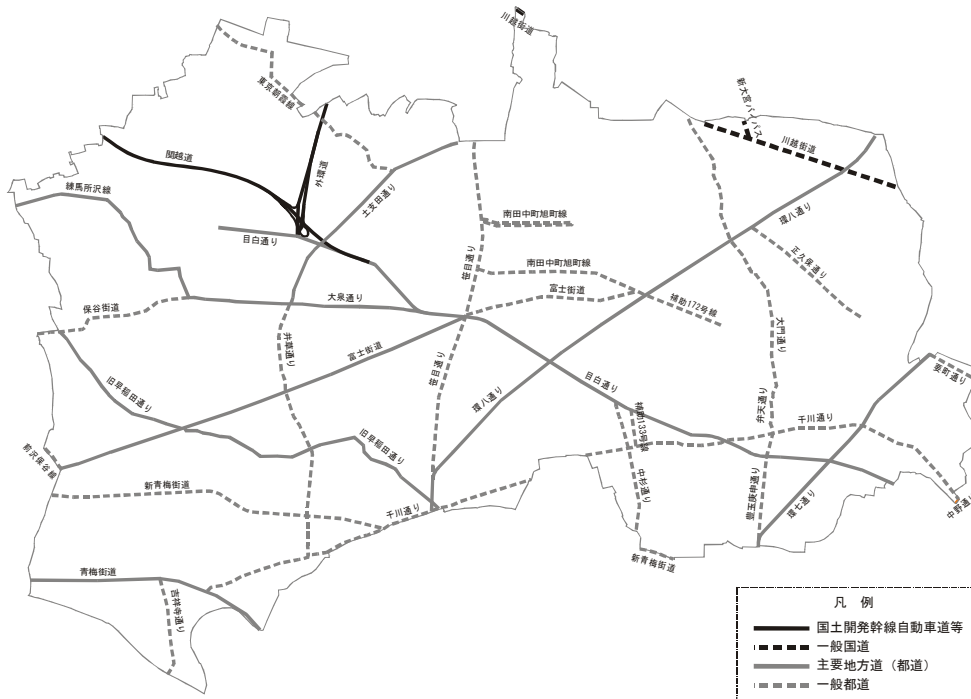
平成 20 年度練馬区環境騒音常時監視事業結果 概要

本調査は、騒音規制法第 18 条に基づき、幹線道路を対象にした自動車騒音を調査し面的評価を行い、環境大臣への報告資料を作成すると共に、沿道環境騒音について、練馬区民の理解を深められる、また練馬区の施策策定に貢献できるような資料等を作成するために行った。

なお、面的評価とは、幹線道路から 50m の範囲にある全ての住居等を対象に、実測値や推計によって騒音レベルの状況を把握し、環境基準に適合している戸数の割合を算出して評価するものである。

対象道路

練馬区内幹線道路（平成 17 年度道路交通センサスの調査対象区間）及び現在までに開通した幹線道路を対象とした（下図参照）。



対象道路

調査項目

(1) 基礎調査

評価区間の設定、土地利用状況の把握、道路交通情勢の把握、道路構造等の把握

(2) 面的評価

沿道状況の把握、騒音発生強度の把握、騒音暴露状況の把握

調査時期

平成 20 年 9 月 25 日 から 平成 21 年 3 月 16 日 まで

調査方法

(1) 基礎調査

① 評価区間の設定

平成 17 年度道路交通センサス区間をもとに、対象地域の区間を必要に応じて細分化することにより評価区間の設定を行った。また同様に、これら評価区間を騒音測定の見測区間、非見測区間に分類した。

② 土地利用状況の把握

都市計画区域、用途地域の変更の有無、道路網・道路改良の状況の変化、土地利用の変化等を行政データの活用や電子地図データをもとに調査し、必要に応じて現場での調査で補完した。

③道路交通情勢の把握

道路の位置、名称、延長、自動車の交通量及び速度を既存の資料等により把握した。

④道路構造等の把握

道路構造、環境保全措置の実施状況（遮音壁、低騒音舗装等）、併設道路の有無について調査した。

(2) 面的評価

①沿道状況の把握

評価区間内に存在する住居等の属性（建物用途、建物構造、階数、建物面積、道路との位置関係等）の調査について、評価区間の道路敷地境界から 50mの範囲をデジタル住宅地図を用いる方法で行い、必要に応じて現地での調査で補完した。

②騒音発生強度の把握

騒音発生強度の把握は、現地における測定によることを基本とした。騒音調査は、観測区間の道路の敷地境界に設定した基準点で 24 時間連続測定を行った。騒音レベルは、昼間（6：00～22：00）、夜間（22：00～6：00）の時間区分に分けて求めた。なお、工事音、緊急車両の音、通行人の話し声等は除外すべき音とした。

交通量調査は毎正時より 10 分間方向別にカウンターを用いて測定した。走行速度は、毎時間行い、上下線でそれぞれ一定区間を通過する車両 10 台以上を対象にストップウォッチを用いて計測した。

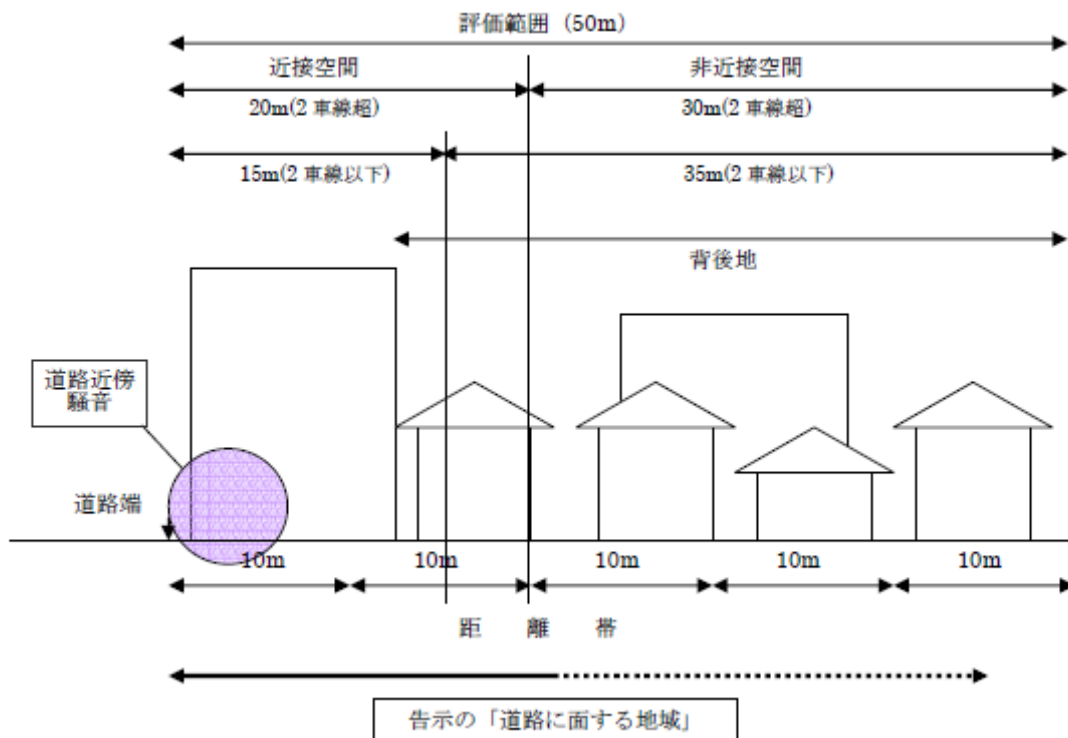
③騒音暴露状況の把握

地域の残留騒音は、基準点付近の背後に設定した場所の背後地騒音を測定することにより取得した。なお、測定は基準点騒音と同時とし、昼間・夜間の各時間帯において 10 分間の測定を 2 観測時間以上行った。

④面的評価

面的評価は、環境省公開「面的評価支援システムVer. 2.0.0」を用いて行った。

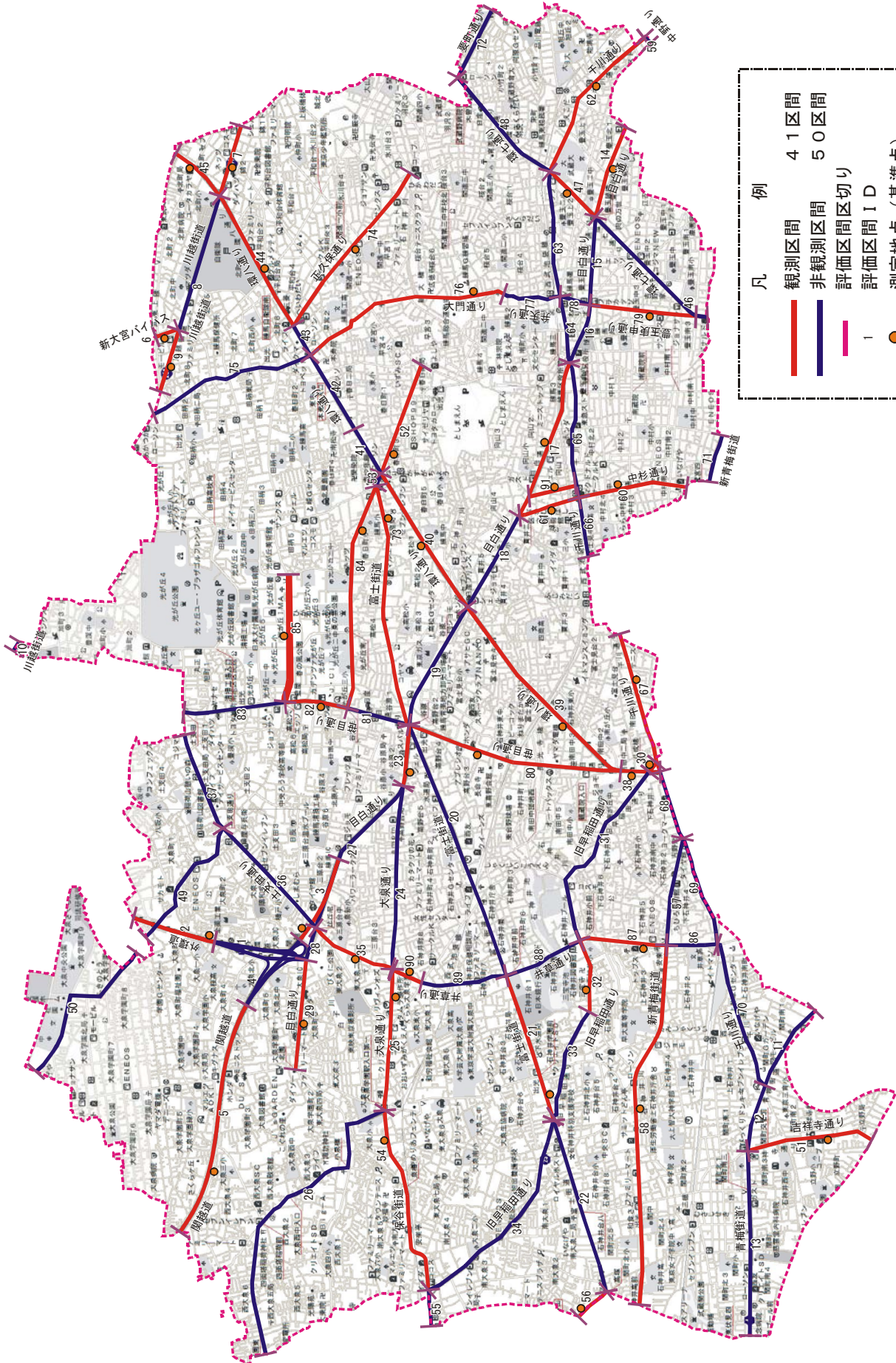
「面的評価支援システム」は、騒音規制法第18条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理を効率的かつ円滑に行うために必要な機能を備えた、市販のパソコン上で動作可能なアプリケーションソフトで、平成15, 16年度の2ヵ年事業として環境省において構築されたものである。



評価 区間 ID	路線名称	車線 数	道路構造	区間起点		区間終点		交通量(台)		大型車混入率(%)		平均車速(km/h)		用途 地域 区分	舗装 種別	遮音壁 の有無	観測 非観測 区分
				分割の理由	町丁目	分割の理由	町丁目	昼間 6時~22時	夜間 22時~6時	昼間 6時~22時	夜間 22時~6時	昼間 6時~22時	夜間 22時~6時				
51	吉祥寺通り	2	平面	区界	関町南3丁目	終点	立野町	9,684	2,082	14.1	11.2	42	45	2	2	なし	○
52	補助172号線	2	平面	起点	早宮3丁目	他のセンサス道路との交差点	春日町3丁目	8,184	1,458	8.5	3.5	45	47	1	2	なし	○
53	補助172号線	5	平面	他のセンサス道路との交差点	春日町3丁目	他のセンサス道路との交差点	春日町6丁目	8,184	1,458	8.5	3.5	45	47	2	2	なし	
54	保谷街道	2	平面	起点	東大泉4丁目	他のセンサス道路との交差点	南大泉4丁目	11,640	2,418	10.7	9.9	36	47	1	2	なし	○
55	保谷街道	2	平面	他のセンサス道路との交差点	南大泉4丁目	区界	南大泉3丁目	11,640	2,418	10.7	9.9	36	47	1	2	なし	
56	前沢保谷線	2	平面	区界	南大泉2丁目	区界	南大泉2丁目	5,730	930	5.5	3.7	45	54	1	2	なし	○
57	新青梅街道	2	平面	区界	下石神井4丁目	他のセンサス道路との交差点	下石神井4丁目	13,116	2,052	20.2	30.8	33	34	1	3	なし	
58	新青梅街道	2	平面	他のセンサス道路との交差点	下石神井4丁目	区界	関町北5丁目	13,116	2,052	20.2	30.8	33	34	1	3	なし	○
59	中野通り	2	平面	区界	旭丘1丁目	区界	旭丘1丁目	10,584	1,452	12.0	13.3	43	46	1	2	なし	
60	中杉通り	2	平面	区界	中村南3丁目	他のセンサス道路との交差点	中村北4丁目	5,226	1,386	18.5	12.1	34	40	2	2	なし	○
61	中杉通り	1	平面	他のセンサス道路との交差点	中村北4丁目	終点	貫井2丁目	954	312	11.9	13.0	21	30	2	2	なし	○
62	千川通り	2	平面	区界	旭丘1丁目	他のセンサス道路との交差点	栄町	10,212	3,090	9.5	5.3	43	51	2	3	なし	○
63	千川通り	2	平面	他のセンサス道路との交差点	栄町	他のセンサス道路との交差点	練馬1丁目	10,212	3,090	9.5	5.3	43	51	2	3	なし	
64	千川通り	2	平面	他のセンサス道路との交差点	練馬1丁目	他のセンサス道路との交差点	豊玉北6丁目	10,212	3,090	9.5	5.3	43	51	2	2	なし	
65	千川通り	4	平面	他のセンサス道路との交差点	豊玉北6丁目	他のセンサス道路との交差点	中村北4丁目	10,584	1,452	12.0	13.3	43	46	1	2	なし	
66	千川通り	4	平面	他のセンサス道路との交差点	中村北4丁目	区界	中村北4丁目	10,584	1,452	12.0	13.3	43	46	1	2	なし	
67	千川通り	2	平面	区界	富士見台1丁目	他のセンサス道路との交差点	南田中1丁目	10,584	1,452	12.0	13.3	43	46	1	2	なし	○
68	千川通り	2	平面	他のセンサス道路との交差点	下石神井1丁目	他のセンサス道路との交差点	下石神井2丁目	10,584	1,452	12.0	13.3	43	46	1	2	なし	
69	千川通り	2	平面	他のセンサス道路との交差点	下石神井2丁目	他のセンサス道路との交差点	下石神井4丁目	10,584	1,452	12.0	13.3	43	46	1	2	なし	
70	千川通り	2	平面	他のセンサス道路との交差点	下石神井4丁目	終点	上石神井1丁目	10,584	1,452	12.0	13.3	43	46	1	2	なし	
71	新青梅街道	2	平面	区界	中村南2丁目	区界	中村南3丁目	13,116	2,052	20.2	30.8	33	34	2	2	なし	
72	栗町通り	4	掘割~トンネル・蓋掛け~掘割~平面	区界	小竹町2丁目	区界	小竹町2丁目	22,488	3,744	11.8	11.8	45	48	2	2	なし	
73	富士街道	2	平面	他のセンサス道路との交差点	春日町3丁目	他のセンサス道路との交差点	谷原1丁目	3,450	366	5.1	12.8	35	40	1	2	なし	○
74	正久保通り	2	平面	起点	水川台3丁目	他のセンサス道路との交差点	平和台4丁目	14,334	2,268	9.9	11.3	46	54	1	2	なし	○
75	六門通り	1	平面	区界	田柄2丁目	他のセンサス道路との交差点	北町6丁目	2,616	402	6.4	5.5	36	39	1	2	なし	
76	六門通り	2	平面	他のセンサス道路との交差点	北町6丁目	道路構造変化点(一方通行路)	練馬2丁目	2,616	402	6.4	5.5	36	39	1	2	なし	○
77	弁天通り	1	平面	道路構造変化点(一方通行路)	練馬2丁目	他のセンサス道路との交差点	豊玉上2丁目	2,616	402	6.4	5.5	36	39	1	2	なし	
78	豊玉庚申通り	2	平面	他のセンサス道路との交差点	豊玉上2丁目	他のセンサス道路との交差点	豊玉北5丁目	5,550	1,554	15.8	15.9	52	59	1	2	なし	
79	豊玉庚申通り	2	平面	他のセンサス道路との交差点	豊玉北5丁目	終点	豊玉南3丁目	5,550	1,554	15.8	15.9	52	59	1	2	なし	○
80	笹目通り	4	掘割~平面~掘割	起点	南田中2丁目	他のセンサス道路との交差点	谷原2丁目	51,018	10,920	24.4	44.6	49	56	1	3	なし	○
81	笹目通り	4	掘割~平面	他のセンサス道路との交差点	谷原2丁目	他のセンサス道路との交差点	谷原3丁目	43,818	9,216	25.3	46.5	45	48	2	3	なし	
82	笹目通り	4	平面	他のセンサス道路との交差点	谷原3丁目	他のセンサス道路との交差点	高松5丁目	43,818	9,216	25.3	46.5	45	48	2	3	なし	○
83	笹目通り	4	平面	他のセンサス道路との交差点	高松5丁目	区界	旭町1丁目	43,818	9,216	25.3	46.5	45	48	2	3	なし	
84	南田中町旭町線	2	平面	他のセンサス道路との交差点	谷原1丁目	他のセンサス道路との交差点	春日町6丁目	9,588	1,428	10.0	7.0	35	32	1	2	なし	○
85	南田中町旭町線	4	平面	起点	高松5丁目	他のセンサス道路との交差点	光が丘3丁目	13,464	2,070	7.6	4.8	50	56	1	2	なし	○
86	井草通り	2	平面	起点	下石神井4丁目	他のセンサス道路との交差点	下石神井5丁目	8,286	1,236	14.6	10.5	48	55	1	3	なし	
87	井草通り	2	平面	他のセンサス道路との交差点	下石神井5丁目	他のセンサス道路との交差点	石神井町5丁目	8,286	1,236	14.6	10.5	48	55	1	3	なし	○
88	井草通り	2	平面	他のセンサス道路との交差点	石神井町5丁目	他のセンサス道路との交差点	石神井町7丁目	8,286	1,236	14.6	10.5	48	55	1	3	なし	
89	井草通り	2	平面	他のセンサス道路との交差点	石神井町7丁目	道路構造変化点(一方通行路)	石神井町8丁目	8,286	1,236	14.6	10.5	48	55	1	3	なし	
90	井草通り	1	平面	道路構造変化点(一方通行路)	石神井町8丁目	終点	石神井町8丁目	4,542	462	8.3	7.0	32	35	1	2	なし	○
91	補助133号線	2	平面	他のセンサス道路との交差点	中村北3丁目	他のセンサス道路との交差点	貫井2丁目	3,708	534	8.6	6.3	43	45	1	3	なし	○

用途種別	内容
1	住居系地域
2	商業系地域
3	工業系地域

舗装種別	内容
1	コンクリート
2	密着性アスファルト
3	透水性アスファルト



凡 例

- 観測区間 41区間
- 非観測区間 50区間
- 評価区間区切り
- 1 評価区間ID
- 測定地点(基準点)

評価区間図

(2) 基準点騒音測定結果

基準点の騒音レベルは、全体で見ると昼間の時間区分が 66dB で、夜間の時間区分の 63dB より 3dB 高い結果となった。また、41 地点中最も騒音レベルが高かったのは ID. 47 環七通り(昼間：77dB、夜間：76dB)であった。

単位：dB

ID	路線名	調査箇所	環境基準 類型	昼間 LAeq (6時～22時)			夜間 LAeq (22時～6時)		
				環境基準	測定値	評価	環境基準	測定値	評価
2	外環道	大泉町三丁目1-13	B	70	63	○	65	58	○
3	関越道	大泉町二丁目7-3	A		63	○		60	○
5	関越道	大泉学園町三丁目23-17	A		66	○		61	○
6	新大宮バイパス	北町三丁目15-16	C		62	○		60	○
7	川越街道	錦二丁目11	C		73	×		73	×
9	川越街道	北町八丁目28-10	C		68	○		65	○
14	目白通り	豊玉北二丁目4-11	C		68	○		65	○
17	目白通り	向山二丁目6-9	B		70	○		68	×
21	富士街道	石神井台五丁目25-20	B		67	○		65	○
23	目白通り	高野台四丁目23	B		68	○		66	×
25	大泉街道	東大泉二丁目3	C		65	○		62	○
29	目白通り	大泉町六丁目22	B		67	○		65	○
30	旧早稲田通り	南田中一丁目22-7	A		67	○		62	○
32	旧早稲田通り	石神井台一丁目20-2	A		64	○		58	○
35	土支田通り	東大泉二丁目15-50	A		63	○		61	○
38	環八通り	南田中四丁目4	B		68	○		64	○
39	環八通り	南田中三丁目12-7	B		63	○		58	○
40	環八通り	高松一丁目28	B		61	○		58	○
44	環八通り	平和台二丁目45-3	B		69	○		67	×
45	環八通り	北町一丁目25-3	C		63	○		58	○
47	環七通り	豊玉上二丁目4-1	B		77	×		76	×
51	吉祥寺通り	立野町14	C		69	○		67	×
52	補助172号線	春日町三丁目28-5	A		64	○		59	○
54	保谷街道	東大泉四丁目18-1	B		68	○		66	×
56	前沢保谷線	南大泉二丁目5	A		64	○		61	○
58	新青梅街道	石神井台四丁目5-14	B		72	×		70	×
60	中杉通り	中村三丁目15	C		68	○		64	○
61	中杉通り	貫井一丁目7	C		62	○		60	○
62	千川通り	旭丘一丁目58-10	C		65	○		63	○
67	千川通り	富士見台一丁目15-20	A		66	○		63	○
73	富士街道	春日町一丁目35	B		64	○		59	○
74	正久保通り	早宮一丁目14	B		68	○		66	×
76	大門通り	桜台五丁目44	B		63	○		59	○
79	豊玉庚申通り	豊玉中三丁目18-6	B		66	○		65	○
80	笹目通り	高野台三丁目15-38	B		69	○		69	×
82	笹目通り	高松六丁目1-15	C		74	×		73	×
84	南田中町旭町線	春日町六丁目10-46	B		67	○		64	○
85	南田中町旭町線	光が丘五丁目2-2	B		59	○		54	○
87	井草通り	上石神井三丁目5	B		64	○		61	○
90	井草通り	石神井町八丁目54	A		65	○		61	○
91	補助133号線	向山一丁目16	B		60	○		55	○
平均				—	66	—	—	63	—

※評価の欄の○印は環境基準を満足していることを、×印は超過していることをそれぞれ示す。

環境基準類型 A：第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域

B：第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域、用途地域に定めのない地域

C：近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

等価騒音レベル LAeq：ある時間範囲について、変動する騒音レベルをエネルギー量で平均したもの。

(3) 背後地騒音測定結果

背後地の等価騒音レベルは、全体で見ると昼間の時間区分が48dBで、夜間の時間区分の45dBより3dB高い結果となった。また、各測定地点の測定値を道路に面する地域の環境基準と比較すると、全ての測定地点で基準値を満足していた。

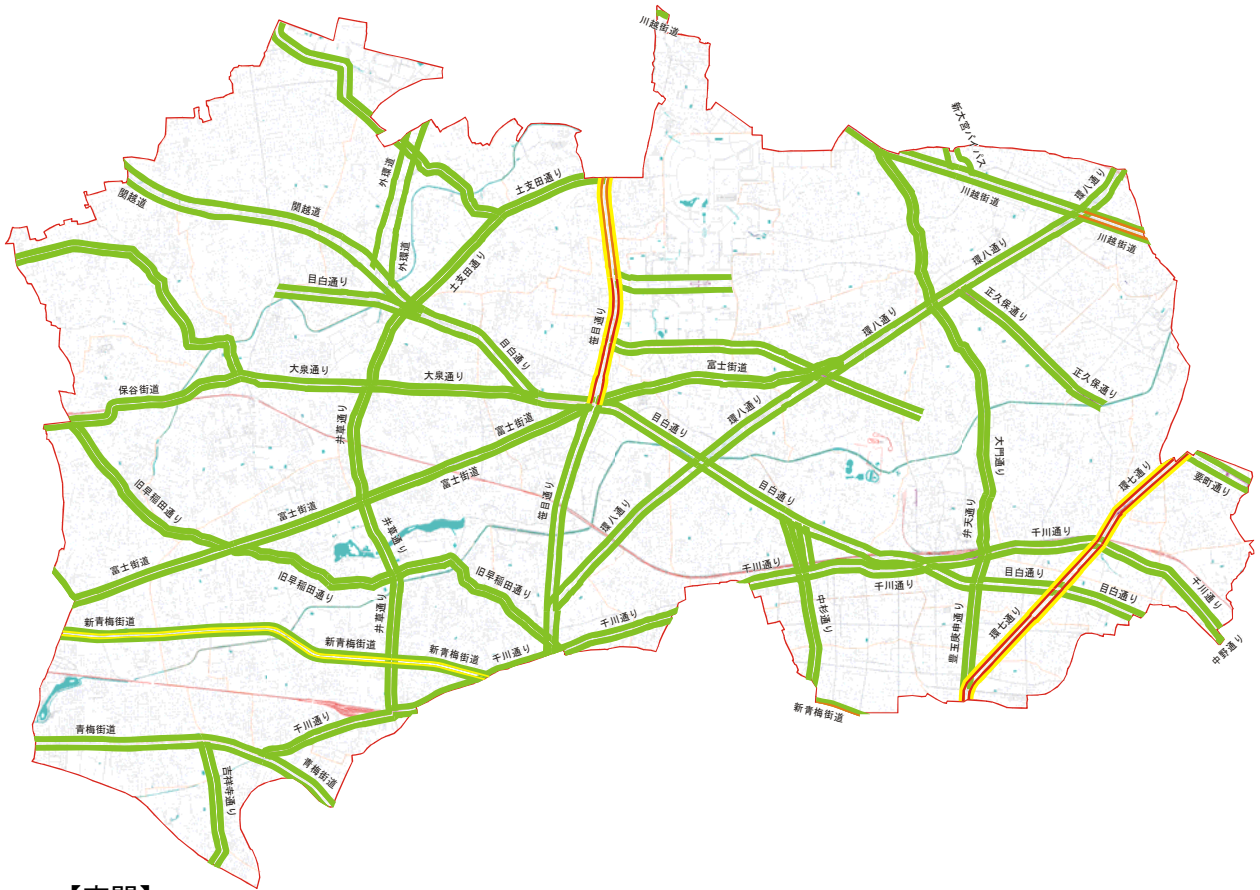
単位：dB

ID	路線名	調査箇所	環境基準 類型	昼間 L Aeq (6時～22時)			夜間 L Aeq (22時～6時)		
				環境基準	測定値	評価	環境基準	測定値	評価
2	外環道	大泉町三丁目1-13	B	65	39	○	60	40	○
3	関越道	大泉町二丁目7-3	A	65	60	○	60	49	○
5	関越道	大泉学園町三丁目23-17	A	65	44	○	60	43	○
6	新大宮バイパス	北町三丁目15-16	C	65	46	○	60	45	○
7	川越街道	錦二丁目11	C	65	53	○	60	52	○
9	川越街道	北町八丁目28-10	C	65	55	○	60	51	○
14	目白通り	豊玉北二丁目4-11	C	65	55	○	60	51	○
17	目白通り	向山二丁目6-9	B	65	53	○	60	51	○
21	富士街道	石神井台五丁目25-20	B	65	42	○	60	37	○
23	目白通り	高野台四丁目23	B	65	53	○	60	50	○
25	大泉街道	東大泉二丁目3	C	65	52	○	60	49	○
29	目白通り	大泉町六丁目22	B	65	47	○	60	40	○
30	旧早稲田通り	南田中一丁目22-7	A	65	46	○	60	43	○
32	旧早稲田通り	石神井台一丁目20-2	A	65	42	○	60	34	○
35	土支田通り	東大泉二丁目15-50	A	65	47	○	60	47	○
38	環八通り	南田中四丁目4	B	65	43	○	60	47	○
39	環八通り	南田中三丁目12-7	B	65	51	○	60	40	○
40	環八通り	高松一丁目28	B	65	47	○	60	43	○
44	環八通り	平和台二丁目45-3	B	65	49	○	60	47	○
45	環八通り	北町一丁目25-3	C	65	46	○	60	45	○
47	環七通り	豊玉上二丁目4-1	B	65	55	○	60	53	○
51	吉祥寺通り	立野町14	C	65	48	○	60	45	○
52	補助172号線	春日町三丁目28-5	A	65	46	○	60	43	○
54	保谷街道	東大泉四丁目18-1	B	65	44	○	60	46	○
56	前沢保谷線	南大泉二丁目5	A	65	44	○	60	39	○
58	新青梅街道	石神井台四丁目5-14	B	65	50	○	60	47	○
60	中杉通り	中村三丁目15	C	65	45	○	60	41	○
61	中杉通り	貫井一丁目7	C	65	48	○	60	42	○
62	千川通り	旭丘一丁目58-10	C	65	51	○	60	43	○
67	千川通り	富士見台一丁目15-20	A	65	45	○	60	41	○
73	富士街道	春日町一丁目35	B	65	48	○	60	39	○
74	正久保通り	早宮一丁目14	B	65	52	○	60	47	○
76	大門通り	桜台五丁目44	B	65	47	○	60	45	○
79	豊玉庚申通り	豊玉中三丁目18-6	B	65	46	○	60	43	○
80	笹目通り	高野台三丁目15-38	B	65	51	○	60	49	○
82	笹目通り	高松六丁目1-15	C	65	54	○	60	49	○
84	南田中町旭町線	春日町六丁目10-46	B	65	50	○	60	42	○
85	南田中町旭町線	光が丘五丁目2-2	B	65	52	○	60	48	○
87	井草通り	上石神井三丁目5	B	65	41	○	60	38	○
90	井草通り	石神井町八丁目54	A	65	44	○	60	39	○
91	補助133号線	向山一丁目16	B	65	52	○	60	46	○
平均				—	48	—	—	45	—

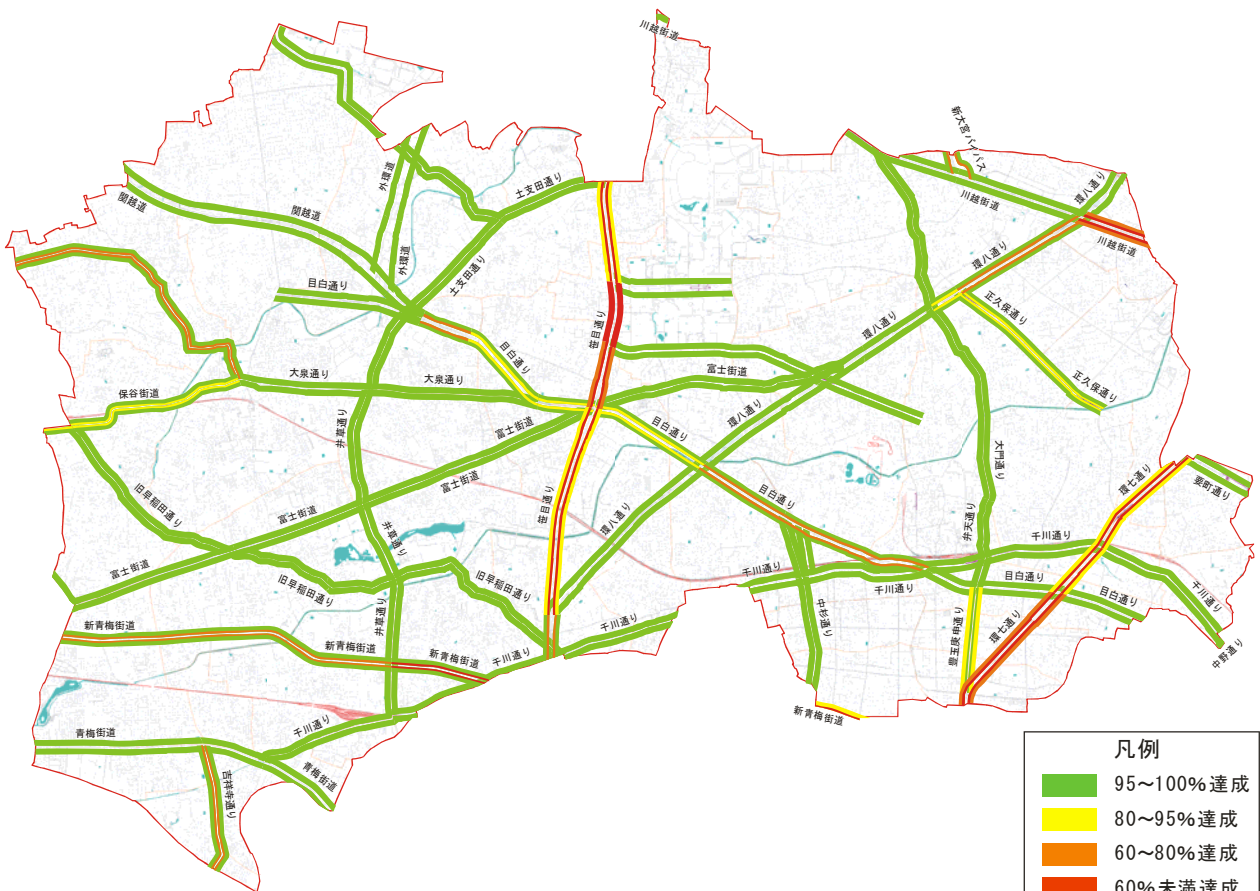
※評価の欄の○印は環境基準を満足していることを、×印は超過していることをそれぞれ示す。

背後地騒音：道路に面していない、2列目以降の住居等が暴露される騒音レベルをいう。

【昼間】



【夜間】



凡例	
	95~100%達成
	80~95%達成
	60~80%達成
	60%未満達成

道路に面する地域の環境基準達成率

調査対象の評価区間を合計した環境基準達成状況

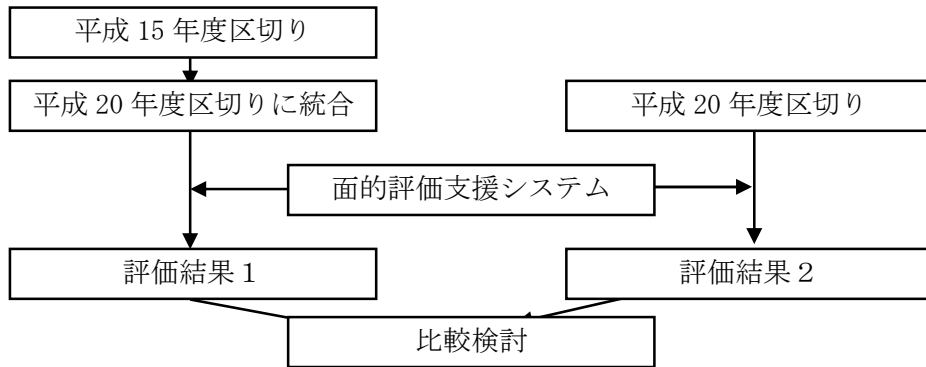
区間数	昼夜別	昼間 (6:00~22:00)			夜間 (22:00~翌 6:00)		
		達成戸数 (戸)	全戸数 (戸)	達成率 (%)	達成戸数 (戸)	全戸数 (戸)	達成率 (%)
91		82,912	85,194	97.3	79,005	85,194	92.7

近接・非近接空間別環境基準達成状況

昼夜別	空間	近接空間			非近接空間		
		達成戸数 (戸)	全戸数 (戸)	達成率 (%)	達成戸数 (戸)	全戸数 (戸)	達成率 (%)
昼間 (6:00~22:00)		40,162	42,018	95.6	42,750	43,176	99.0
夜間 (22:00~翌 6:00)		36,956		88.0	42,049		97.4

平成 15 年度評価結果との比較

平成 15 年度と平成 20 年度の評価結果の比較検討作業の流れは下図に示すとおりとした。



検討作業の流れ

評価区間は今回、平成 15 年度評価区間を結合又はそのままの形で設定している。このため、平成 15 年度の再評価に当たって、再度評価区間を設定し直す必要はないが、平成 15 年度の時点で以下の評価区間は未開通もしくは評価対象外であったため、除外した。

- ・ ID. 39 環八通り
- ・ ID. 45 環八通り
- ・ ID. 52 補助 172 号線
- ・ ID. 91 補助 133 号線

また、平成 15 年度と平成 20 年度の評価区間延長は以下のとおりである。

- ・ 平成 15 年度：80.1km
- ・ 平成 20 年度：81.8km

平成 15 年度と平成 20 年度の評価結果の比較を以下に示した。

面的評価支援システム Ver. 2.0.0 による平成 15 年度と平成 20 年度の面的評価結果の比較

評価年	評価区間全体					近接空間					非近接空間				
	評価対象 住居等 戸数 (戸)	昼間基準値以下		夜間基準値以下		評価対象 住居等 戸数 (戸)	昼間基準値以下		夜間基準値以下		評価対象 住居等 戸数 (戸)	昼間基準値以下		夜間基準値以下	
		戸数 (戸)	率 (%)	戸数 (戸)	率 (%)		戸数 (戸)	率 (%)	戸数 (戸)	率 (%)		戸数 (戸)	率 (%)	戸数 (戸)	率 (%)
平成15年度	82,046	78,657	95.9	69,858	85.1	40,775	38,353	94.1	32,083	78.7	41,271	40,304	97.7	37,775	91.5
平成20年度	85,194	82,912	97.3	79,005	92.7	42,018	40,162	95.6	36,956	88.0	43,176	42,750	99.0	42,049	97.4
差	+3,148	+4,255	+1.4	+9,147	+7.6	+1,243	+1,809	+1.5	+4,873	+9.3	+1,905	+2,446	+1.3	+4,274	+5.9

※平成 15 年度については、平成 15 年度の測定結果を基に面的評価支援システム Ver. 2.0.0 にて再計算を行った。

平成 15 年度の戸数は、平成 20 年度の戸数から平成 15 年度には開通していなかった路線の戸数を差し引いて算出した。

昼間：6 時～22 時の 16 時間 夜間：22 時～翌 6 時の 8 時間

平成 15 年度当時の面的評価結果と面的評価支援システム Ver. 2.0.0 による平成 20 年度の結果の比較

評価年	評価区間全体					近接空間					非近接空間				
	評価対象 住居等 戸数 (戸)	昼間基準値以下		夜間基準値以下		評価対象 住居等 戸数 (戸)	昼間基準値以下		夜間基準値以下		評価対象 住居等 戸数 (戸)	昼間基準値以下		夜間基準値以下	
		戸数 (戸)	率 (%)	戸数 (戸)	率 (%)		戸数 (戸)	率 (%)	戸数 (戸)	率 (%)		戸数 (戸)	率 (%)	戸数 (戸)	率 (%)
平成15年度	71,567	69,015	96.4	60,648	84.7	31,536	29,704	94.2	24,347	77.2	40,031	39,311	98.2	36,301	90.7
平成20年度	85,194	82,912	97.3	79,005	92.7	42,018	40,162	95.6	36,956	88.0	43,176	42,750	99.0	42,049	97.4
差	+13,627	+13,897	+0.9	+18,357	+8.0	+10,482	+10,458	+1.4	+12,609	+10.8	+3,145	+3,439	+0.8	+5,748	+6.7

※昼間：6 時～22 時の 16 時間 夜間：22 時～翌 6 時の 8 時間

平成 15 年度に比べて平成 20 年度の環境基準達成率が高くなった要因は、低騒音舗装区間の増加等により基準点騒音レベルが低くなったためである。

平成 15 年度と平成 20 年度の基準点騒音レベル(平均値)の比較

単位：dB

評価年	昼夜別	昼間 (6:00~22:00)	夜間 (22:00~翌 6:00)
	平成 15 年度	69	66
平成 20 年度	67	64	
差	-2	-2	